

竹井 ようこ

東京都議会立憲民主党

滋賀県生まれ、名古屋育ち。南山大学外国語学部英米学科卒業後、民間通信会社入社。欧州情報通信政策の調査等のためベルギーに赴任。2015年～小平市議会議員（2期）、2021年～東京都議会議員。防災士。

皆様からの
ご意見をもとに

都知事に一般質問！

（令和4年第一回定例会2月25日）

英語スピーキングテストを都立高校入試に 導入することの課題について

来年度から都立高校入試において「英語スピーキングテスト」が導入される予定です。昨年プレテストも行われています。英語学習において「スピーキング力」が重要なのは異論ありません。しかし、下記のような課題があります。

公平で公正な採点ができるのか

- 11月27日に都内中学3年生約8万人が一斉にテストを受ける。生徒がタブレットに録音した音声をフィリピンにおいて採点者が45日間という短期間で採点するが、採点システムが事業者との協定で機密とされ、どんな採点者がどのように採点するのか明らかにされない。また、プレテストと採点期間が違うが、45日間で採点は可能なのか。
- 生徒が受け取る成績表はどこでどう間違えたのかもわからない。高校入学後指導に役立たせるのは困難。
- 採点について開示請求できない。
- 達成度を見るテストなのに推薦入試には使われないのはおかしい。

教育庁は「採点は都教委が監修した基準を用い、高度な英語力と専門性を有する専任者が複数で行う。実施主体として公平公正に運営していく。」としています。



経済格差で点数に差が出ないか

早期に塾に通ったり、事業者が提供する教材で学習できる家庭が有利なのではないかと質しました。教育庁は「スピーキングテストは中学での学習内容から出題。過去問をウェブサイトに掲載し、動画教材を配信している。テストには通常の授業と動画教材の活用により十分に対応できる。」としていますが、今後さらに不明点を質していきます。

特別措置が不可欠

全員が受けるテストでは、吃音や発話障害を持つ生徒など特別措置が必要な生徒への対応は不可欠です。情報発信をしっかりとすべきです。これについて教育庁からは、特別措置に関する情報をウェブサイトに掲載するとともに申請の受付期間を延長する、と答弁がありましたが、それ以外にも、吃音の症状は様々なことから、本人に寄り添った対応を求めました。

また、そもそも、中学には「ことばの教室」がないのが問題です。吃音や発話障害のある生徒への適切なケアを行い、吃音があることで自己否定感につながらないようにしてほしいと思います。教育庁は、吃音の特徴や生徒の不安な心情の理解等を促す教員向けの啓発資料を配布するとともに、教師からの聞き方を工夫し、生徒が自信を持って学校生活を送れるように配慮するとの事。

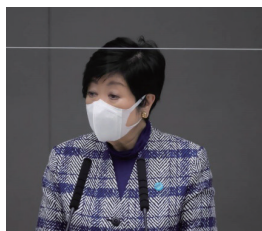
ソーシャルファームの拡充について

日本で初めて都が始めたソーシャルファーム（社会的企業）制度では、ソーシャルファームとして認定されるには障害者の他、高齢者、シングル家庭、引きこもり経験者やニートの方、路上生活者、刑務所出所者など、就労に困難を抱える人が相当数雇用され、他の従業員とともに働いている、また事業からの収入を財源として運営していることが必要条件です。社会的意義の高い制度であり、その拡充のために都の支援が不可欠です。

また、既にソーシャルファームの概念に沿って取り組みを行っている事業者がソーシャルファームに認定されるようなサポートも必要です。

【知事答弁】

創設の促進を図っていく必要がある。意欲のある事業者に対して自律的な経営基盤を作り上げるサポートを行う。



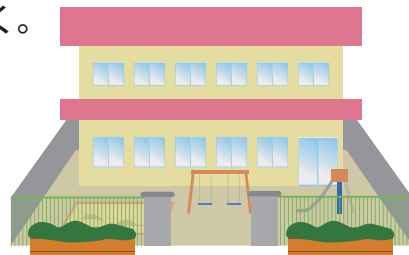
認可保育所の実地検査について

国は各保育所等への実地検査を年一回以上行うことを自治体に義務付けていますが、3～40%の実施率しかないのが実情です。

また、国は、実地検査に変えて書面やオンラインでもよいとする施行令の変更を検討していますが、行政による目視が重要であり、実地検査を止めるべきではありません。

【福祉保健局長答弁】

区市町村との合同検査の実施など連携して引き続き実地検査を行っていく。デジタル技術の活用も行い保育の質の確保に向けてより効果的な指導検査を進めていく。



文書質問・都市整備委員会

地域の課題にも引き続き
精力的に取り組みます

五日市街道、喜平橋交差点について

①喜平橋交差点は「交差点すいすいプラン」によって改良工事が進められており、国分寺街道両側は幅員2.5m～3.5mの歩道に拡幅する予定だが、交差点の東側歩道は拡幅されておらず、信号待ちの人だまりができると歩行が困難になり、特に通学時は子どもたちにとって大変危険な箇所です。早急な改善が必要。

②五日市街道の喜平橋交差点から上水本町4丁目あたりまで一部除いて歩道がなく危険であり、対策が必要。

【都の回答】

①国分寺街道部分約320mは道路拡幅や無電柱化を実施予定。約300mは整備完了しており残る区間について用地取得を進めていく。

②当該道路は都市計画決定がされている。喜平橋交差点から西側約200mの区間は歩道の整備を進めている。



小平駅踏切について

小平駅の踏切はいわゆる「開かずの踏切」です。幅が広くすぐ閉まるため立往生してしまう方もいます。平成16年に定められた「踏切対策基本方針」では、「鉄道立体化以外の対策」の対象区間にされていますが、同方針には「将来、まちづくりの進展や周辺環境の変化が生じた場合などには、対策の一つとして鉄道立体化を検討することもある」ともしています。基本方針策定から17年が経ち、状況も変化しているため方針自体を見直し、立体化を検討するよう求めていきます。

竹井ようこ事務所

【事務所】〒187-0041 小平市美園町1-1-15-102

【TEL&FAX】042-207-1232

【Eメール】info@takeiyoko.com

皆様の都政へのご意見・ご要望を
お気軽にお寄せください！



竹井ようこ

検索